

第7回鎌倉市生活環境整備審議会 議事録（概要）

- 1 **開催日時** 平成26年5月29日（木）17時から17時20分まで
- 2 **開催場所** 鎌倉市役所 本庁舎 鎌倉市議会 第1委員会室
- 3 **出席者** 横田会長、荒井副会長、大西委員、河邊委員、坂本委員
- 4 **事務局** 石井環境部部長、川村環境部次長、小池環境部次長、遠藤環境施設課課長、佐藤環境センター担当課長、杉田環境センター担当課長、近藤環境施設課課長補佐、齋藤環境施設課課長補佐、花田環境施設課環境施設担当
- 5 **傍聴者** 非公開
- 6 **協議内容**
 - (1) 用地検討部会の進捗状況について
 - (2) その他
- 7 **配付資料**
 - (1) 資料1 「1次選定結果及び（第1回）2次選定絞り込み条件による候補地」
 - (2) 資料2 「2次選定絞り込み条件による都市公園・緑地の状況」
 - (3) 資料3 「（第1回）2次選定絞り込み条件による候補地」
 - (4) 第6回鎌倉市生活環境整備審議会議事録（概要）（案）

8 会議の概要

主な質疑応答等の内容は次のとおりです。

開会	小池次長
配布資料の確認	遠藤課長

※本日の資料は「取扱注意」とすることで了承が得られた。

(1) 用地検討部会の進捗状況について

横田会長

それでは、これまでの用地検討部会での検討経過について、荒井部会長から説明をお願いしたい。

荒井副会長

用地検討部会の経過について、資料1～資料3に基づき、これまでの用地検討部会の経過と、建設候補地を4箇所絞り込んだ経緯について詳細な説明を行った。

横田会長

今の、荒井部会長からの説明について質問があればお願いしたい。

深沢クリーンセンターは何か地元との協定・覚書といった条件があるのか。

荒井副会長

市からの説明によると、文書で交わして約束事はないそうだが、今後、この場所に廃棄物処理施設は建設しないで欲しいという要望が以前からあると聞いている。

横田会長

他の3箇所も、文書でそういった約束がないということか。

荒井副会長

クリーンセンターが建てられているのは、名越クリーンセンターと今泉クリーンセンター、深沢クリーンセンターである。名越クリーンセンターと今泉クリーンセンターについては、今の施設を撤去した後は新しい施設を作らないという覚書・協定書を地元住民と交わしている。深沢クリーンセンターは、文書化はしていないがそういった声があがっており、市も聞いているということである。ただ、今後、その他の候補地も含め、そういった地元の声がある場合には、比較検討項目として検討していく予定である。

大西委員

場所と敷地の広さからだけで判断すれば、野村総研の跡地が良いと思うし、生物処理との連携を考えるとすれば山崎の終末処理場も良いと思う。判断の材料として、今回検討している施設が、例えば、防災の拠点になるといった話もあったと思うが、そういったことが加味されるのか。

荒井副会長

現時点ではまだ具体的な話が出ていない。次回以降にそういった絞込みの条件を決めていくことになる。ただ、ご指摘のとおり、環境省の交付金交付要綱では、高効率発電と防災拠点化を併せることで交付率1/2を補助するということになっているので、そういったことも十分配慮していく必要がある。

坂本委員

都市計画決定について、「予定あり」や「あり」となっている候補地があるが、説明していただきたい。

遠藤課長

深沢地域総合整備事業区域内市有地については、区画整理事業の予定がある。市の所有分と民有地を含めて、区画整理事業の都市計画決定の予定がある。山崎下水道終末処理場については、終末処理場としての都市計画決定があり、その場所を使用するということになれば都市計画決定の変更が必要となる。

横田会長

山崎下水道終末処理場については、下水処理場は壊さないで建設するということか。

遠藤課長

処理場の敷地内に、将来の人口に合わせ、施設を拡大していく予定で確保していた場所があったが、人口の減少が見込まれるため、その場所に施設を作らなくて済むという状況が生まれてきた。その場所が現在は空地となっているので候補地としてあがっている状況である。

横田会長

野村総研の面積は、16万㎡もあるのに利用可能面積が小さいのはどういった理由か。

遠藤課長

候補地は山あいの場所であり、頂上付近の平らな部分のみが野村総研の建物がある等、土地利用がされている状況である。その平らな部分の面積が概ね1万6千㎡で、利用可能面積として想定している。平らな部分以外の土地は傾斜地であり、改変する可能性はゼロではないが、今のところ、利用可能面積としていない。

荒井副会長

どの候補地も地理的には近いところにある。

遠藤課長

鎌倉市の中心部辺りに位置する深沢地区に、概ね4箇所とも位置している。

横田会長

深沢クリーンセンターが、一番、藤沢市寄りになるのか。

遠藤課長

深沢クリーンセンターよりも深沢地域総合整備事業区域内市有地の方が近い。

横田会長

候補地を4候補地まで絞り込んでいただいたということで、今後は各候補地の比較検討を行っていくことになる。これからが山場ということになるかと思うが、荒井副会長には引き続き用地検討部会のとりのまとめをお願いします。

(2) その他

横田会長

事務局より説明願います。

遠藤課長

本日の審議会は、候補地に係る協議ということで非公開とさせていただいた。

5月13日の用地検討部会において、候補地の固有名詞や公開の時期について、「公開してもよいのではないか」、「まだ早いのではないか」という両方の意見をいただき、公開時期とその方法

については、部会長と審議会会長と相談したうえで決めていくこととなった。

市としては、協議を重ねた結果、両会長に相談したうえで、6月の市議会において鎌倉市ごみ焼却施設基本計画策定の進捗状況を報告する際に、4候補地を固有名詞も含めた実名で報告したいと考えているが、当審議会からご意見を伺いたい。

横田会長

ただいま、事務局から、4候補地名を6月の市議会に報告したいという話があったが、いかがか。

特に異議がないようので、審議会としては了承としたい。

遠藤課長

ありがとうございました。今回、4候補地を市議会に報告したいと思うが、審議会における用地関係の情報の取り扱いについては、今後も皆様からご意見をいただきながら判断していきたいと考えているので、引き続きよろしくお願ひしたい。

横田会長

その他で何かありますか。

小池次長

次回の日程について、7月の初旬に開催したいと考えています。早急に日程調整をさせていただきます。また、準備ができている基本計画（案）の内容については、なるべく早い時期に皆様に事前に資料を送付させていただきたいと考えていますので、よろしくお願ひしたい。

横田会長

本日予定されていた議事はこれで全て終了したため、これで第7回鎌倉市生活環境整備審議会を終了したい。ありがとうございました。